

令和 6 年度
釜石市国際外語大学校
自己点検・評価委員会結果報告書

令和 7 年 3 月

令和6年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館釜石市国際外語大学の自己点検・評価結果を公表致します。

令和7年3月

学校法人龍澤学館
理事長 龍澤 尚孝

◇法人理念

人づくりを通して地域の活性化をはかり未来を拓く

◇教育理念

地域社会及び我が国並びに国際社会の発展に貢献するため、常に流動、進展を続ける社会情勢に即応できる人材の育成を行う

◇教育目標・人材育成像

〈外語観光学科〉

グローバル社会で活躍するために必要な専門性と人間性を備え、地域社会の発展に寄与する人材を育成する

1. 社会の様々な事象に関心を持って情報収集や分析、問題発見をすることができる
2. グローバル社会において、専門性を発揮して課題解決を図ることができる
3. 他者と協働して物事に取り組むうえで、互いを尊重して相互理解を図ることができる
4. 常に挑戦し続ける姿勢を持ち、自己の成長に向けて計画的・主体的に実践することができる

〈日本語学科〉

日本の高等教育機関に進学するために必要な日本語力とマナーを身につけ、日本社会の一員として、また、国際人として幅広く活躍できるよう、お互いを尊重し、自ら考えて行動できる人材を育成する

1. 日本で専門学校に進学するうえで必要な日本語力とマナーを身につける
2. 日本の文化を理解し、お互いを尊重し合える思いやりの心を育む
3. 日本語を活かして、地域住民とより良い関係づくりができるコミュニケーション力を磨く

◇2024年度重点目標

1. 外語観光学科においては、地域の企業・自治体等と連携した教育活動を行う体制を確立する。
2. 日本語学科においては、留学生の受け入れ、生活指導、在留管理等を適正に行う体制を確立する。
3. 地域の多文化共生を促進できるよう、教職員の専門性向上と学科を超えた協働を継続的に図る。

◇評価方法

S：達成度が高い

A：達成している、適合している

B：一部未達成

C：未達成、適合していない

◇自己点検・評価項目

1. 理念・教育目標・人材育成像		自己点検 評価
1.1	理念、教育目標が社会の要請に合致していることを確認している	A
1.2	理念、教育目標及び人材育成像が、教職員及び学生に周知されている	B
評価 理由	ホームページや学生の手引き等で広く周知はしているが、まだ浸透しているというレベルにまでは達していない。	
課題と 改善策	折りに触れて確認する機会を作り、浸透を図っていく。	

2. 学校運営		自己点検 評価
2.1	日本語教育機関の告示基準に適合している（日本語学科）	A
2.2	短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている	A
2.3	管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営が行われている	A
2.4	意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している	B
2.5	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である	A
2.6	外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある	B
2.7	学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている（日本語学科）	B
2.8	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している	A
2.9	教育活動等に関する情報提供・情報公開が適切に行われている	A
2.10	自己点検・評価委員会規則に則り、適切に実施・改善及び結果を公表している	B
評価 理由	効率的に機能させるための仕組みは現在構築中である。また、現在の外部への情報提供は原則日本語、自己点検評価の結果は今年度分から公表する予定となっている。	
課題と 改善策	当面は試行錯誤しながら効率的な仕組みを構築していきたい。情報提供の多言語化については、英語による提供を検討していく。	

3. 教育活動の計画		自己点検 評価
3.1	理念・教育目標に合致した学科コース設定をしている	A
3.2	教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している	A
3.3	「日本語教育の参照枠」を参考にしてレベル設定をしている（日本語学科）	A
3.4	教育目標に合致した教材を選定している	A
3.5	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している 注：教材等の著作物（電子媒体を含む。）の複製について著作権法上の制限事項・禁止事項を教員及び学生に伝えなければならない。	A
3.6	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている	A
3.7	教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている	B

評価理由	教員および非常勤講師の間で教育目標・人材育成像を共有し、その達成に向けた教育活動が適切になされている。
課題と改善策	指導の幅を広げるためにも、英語および日本語の言語指導ができる非常勤講師を増員したい。

4. 教育活動の実施		自己点検評価
4.1	授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている（日本語学科）	A
4.2	教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している	A
4.3	開示されたシラバスによって授業を行っている	A
4.4	授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している	S
4.5	理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っている	A
4.6	学生の自己評価を把握している	A
4.7	個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている	A
4.8	特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている	A
評価理由	小テストやアンケートの実施により理解度・到達度を把握し、必要に応じて個別指導を行う等の支援も行っている。	
課題と改善策	地域と連携した校外活動のさらなる充実を図っていく。	

5. 成績判定と授業評価		自己点検評価
5.1	判定基準及び判定方法が開示されており、適切に判定が行われている	A
5.2	成績判定結果を的確に学生に伝えている	A
5.3	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している	A
5.4	授業評価を定期的に実施している	B
5.5	評価体制、評価方法及び評価基準が適切である	B
5.6	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れている（外語観光学科）	A
5.7	学生による授業評価を定期的に実施している	A
5.8	授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている	A
評価理由	授業評価についてはまだ検討の余地がある。	
課題と改善策	学科を跨いで相互の授業見学を行う等あらたな気づきを得る機会を創出し、今以上に授業の質を高めるための基準や方法を検討していく。	

6. 教育活動を担う教職員	自己点検評価
---------------	--------

6.1	教職員及び非常勤講師等の職務内容及び責任と権限を明確に定めている	A
6.2	教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している	A
6.3	教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している	A
6.4	教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしている	A
6.5	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている	B
6.6	教員及び職員の評価を適切に行っている	B
評価理由	今年度の研修は業界知識や学生指導力に関する内容で実施した。また、教職員の評価については、法人全体で新たな評価制度を導入・運用を行っている過程にある。	
課題と改善策	教育機関としての倫理観や振る舞い等については日々の中で意識啓発できているが、次年度は研修の実施も検討する。	

7. 教育成果		自己点検評価
7.1	入学から修了・卒業までの成績を記録・保管し、適正に管理している	A
7.2	修了・卒業の判定を適切に行っている	A
7.3	日本語能力試験・日本留学試験（日本語学科）、TOEIC（外語観光学科）等の外部試験の結果を把握している	A
7.4	卒業又は修了後の進路を把握している	—
7.5	卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している	—
評価理由	卒業生・修了生はまだいない。検定結果や成績評価、出席状況等の情報は適正に管理されている。	
課題と改善策	次年度は、卒業生・修了生の状況把握・社会的評価の把握について体制や方法を検討していく。	

8. 学生支援		自己点検評価
8.1	学生支援計画を策定し、支援体制を整備している	A
8.2	生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限を明確化している。また、これらの者を学生及び教職員に周知している	A
8.3	日本社会を理解し、適応するための取組を行っている	A
8.4	留学生生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的に実施している	A
8.5	住居支援を行っている	S
8.6	アルバイトに関する指導及び支援を行っている	A
8.7	健康、衛生面について指導する体制を整えている	S
8.8	対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している（日本語学科）	S
8.9	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている	B

8.10	交通事故等の相談体制を整備している	B
8.11	危機管理体制を整備している	B
8.12	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的実施している	B
8.13	気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している	B
評価理由	緊急時の体制・対応についてはまだ検討の余地がある。	
課題と改善策	関係各所と連携して適切な指導を受けながら、緊急時の体制の整備・対応策の検討を進めていく。	

9. 進路に関する支援		自己点検評価
9.1	進路指導担当者を選任している	B
9.2	学生の希望する進路を把握している	A
9.3	進学・就職等の進路に関する最新情報を、学生がいつでも閲覧できる状態にある	A
9.4	入学時から一貫した進路指導を行っている	A
評価理由	進路指導担当を特定せず全身体制で指導することとしている。	
課題と改善策	外部とのやり取りや情報管理の観点から、次年度から担当者を選任することとする。	

10. 入国・在留に関する指導及び支援（日本語学科）		自己点検評価
10.1	入管事務担当者を特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている	A
10.2	担当者は、研修受講等により最新かつ適切な情報取得を継続的に行っている	A
10.3	地方出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置している	S
10.4	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている	S
10.5	在留に関する学生の最新情報を正確に把握している	S
10.6	在留上、問題のある学生への個別指導を行っている	S
10.7	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている	S
10.8	過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない	—
評価理由	在留上の問題がある学生は一人も出ていない。全員が出席率100%で進級を迎えられたのも丁寧な指導の成果と評価している。	
課題と改善策	—	

11. 教育環境	自己点検評価
----------	--------

11.1	教室内は、照度、換気、遮音について適切に整備されている	A
11.2	授業時間外に自習できる部屋を確保している	S
11.3	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である	B
11.4	視聴覚教材やIT を利用した授業が可能な設備を整備している	S
11.5	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している	S
11.6	同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している	S
11.7	法令上必要な設備等を備えている	S
11.8	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である	S
11.9	バリアフリー対策を施している	S
評価理由	図書の数以外は充実した教育環境の提供ができています。	
課題と改善策	図書を寄贈いただけるお話も上がっており、新規購入も含めて今後増えていく学生数を見据えて充実を図っていく。	

12. 入学者の募集と選考		自己点検 評価
12.1	理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している	S
12.2	当法人・学校の職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている	S
12.3	教育内容や成果等の正確な最新学校情報、求める学生像及び応募資格と条件が、入学志願者に理解できる言語・表現で開示されている	B
12.4	募集活動が適切に行われていることを把握している	A
12.5	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている	S
12.6	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている	S
12.7	不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校職員等が面接などの調査を行うよう努めている（日本語学科）	S
12.8	入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力（日本語学科）等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している	S
12.9	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている	S
12.10	関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている	S
評価理由	日本語学科に関する情報について、現在は日本語のみの開示となっている。	
課題と改善策	今後は、英語による情報の開示も検討していく。	

13. 財務		自己点検 評価
13.1	財務状況は、中長期的に安定している	S
13.2	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている	S
13.3	適正な会計監査が実施されている	S

評価理由	法人本部で財務について適正に管理しており、財務情報についてはホームページで公開している。
課題と改善策	—

14 法令遵守		自己点検 評価
14.1	法令遵守に関する担当者を特定している	A
14.2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている	A
14.3	個人情報保護のための対策をとっている	A
14.4	地方出入国在留管理局、その他関係官公庁、日振協等への届出、報告を遅滞なく行っている	A
評価理由	法人全体で心がけるべき信条や行動指針が明文化されており、高い意識で取り組んでいる。また、各種届出、報告は遅滞なく行っている。	
課題と改善策	さらに高い意識と自覚をもって業務にあたっていく。	

1 5. 地域貢献・社会貢献		自己点検 評価
15.1	学校の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている	S
15.2	学生ボランティア活動への支援を行っている	S
15.3	公開講座等を実施している	A
評価理由	釜石市をはじめ関係各所との連携および学生。教職員の積極的な姿勢により、十分に取組んでいる。	
課題と改善策	—	